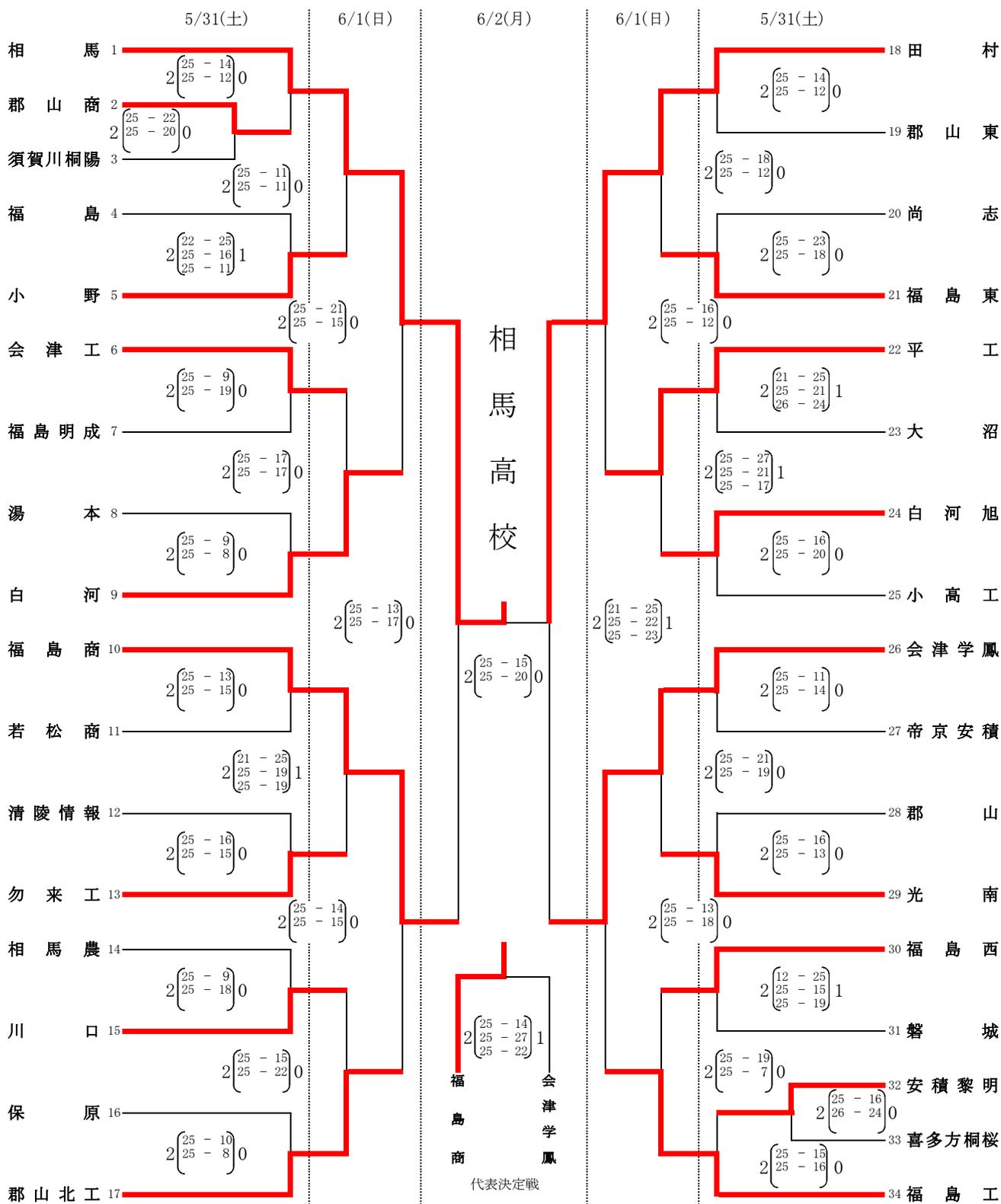


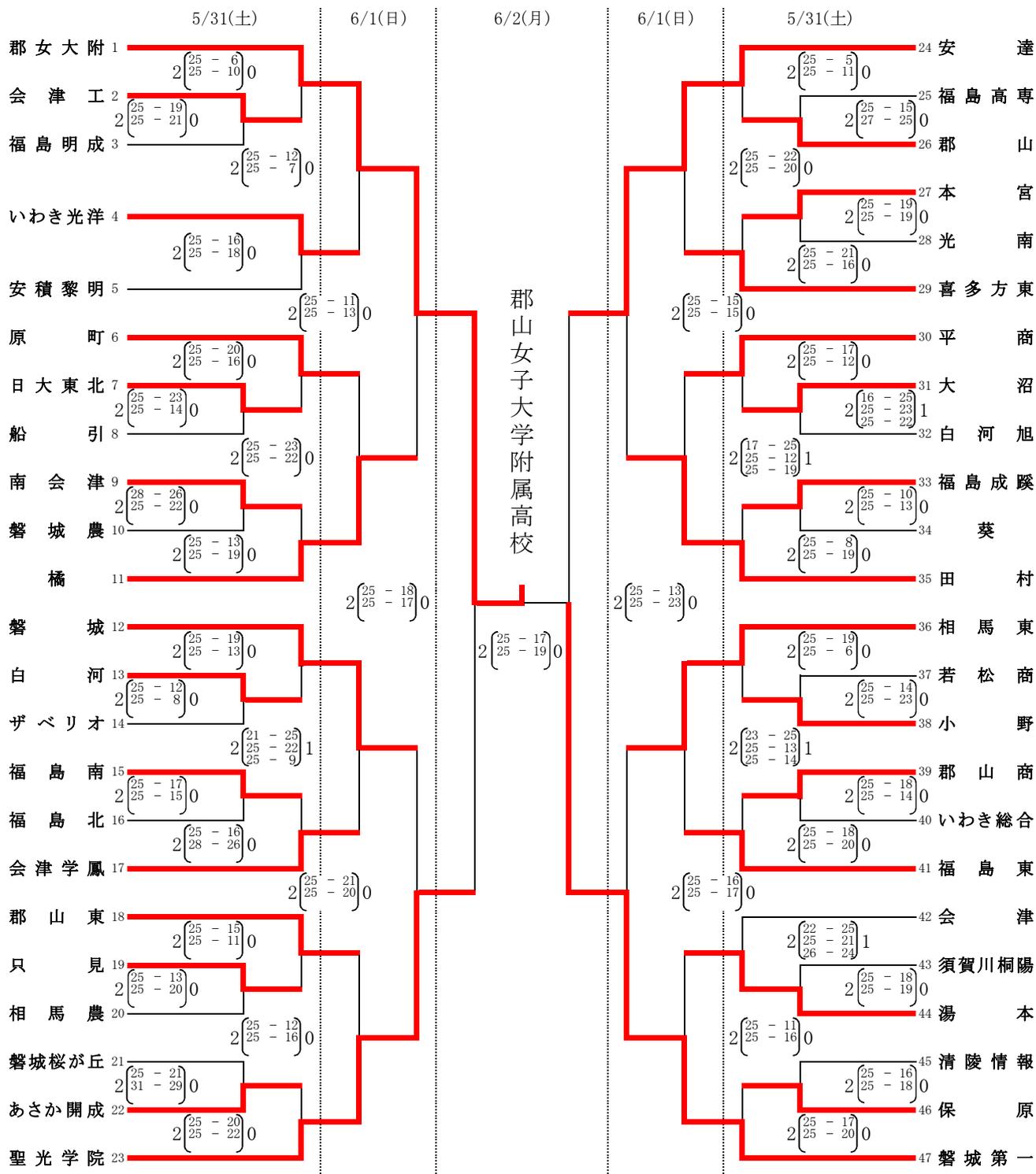
平成26年度 第60回福島県高等学校体育大会バレーボール競技  
《男子》



A、B、C、D: 福島市国体記念体育館      E、F: 福島北高等学校      G、H: 福島東高等学校      I、J: 福島南高等学校

第1位	相馬高等学校(2年ぶり19回目)
第2位	田村高等学校
第3位	福島商業高等学校・会津学鳳高等学校

平成26年度 第60回福島県高等学校体育大会バレーボール競技  
《女子》



A,B,C,D:福島市国体記念体育館 E,F:福島北高等学校 G,H:福島東高等学校 I,J:福島南高等学校

第1位	郡山女子大学附属高等学校(3年ぶり16回目)
第2位	磐城第一高等学校
第3位	聖光学院高等学校・安達高等学校

男子は相馬・田村・福商、女子は郡女大附・磐城第一が平成26年度第50回東北

高等学校バレーボール選手権大会兼NHK杯大会に出場します。また、男子は相馬

女子は郡女大附が平成26年度全国高等学校総合体育大会バレーボール競技に出場します。

## 平成26年度 第60回福島県高等学校体育大会バレーボール競技

最 終 エ ン ト リ ー

チ ー ム 相馬高等学校

監 督 横山義彦

コ ー チ 永山幸子

マネージャー 羽根田真子

男  
白橋

競技者番号	選 手 名	学 年	身 長	備 考
1	佐々木 将至	3	178	
2	堀 智裕	3	185	
3	田村 歩夢	3	178	
4	猪苺 伊康	3	178	
5	山寺 一樹	3	176	
6	佐藤 宏樹	2	176	
7	松本 壘	2	171	
8	砂金 健斗	2	176	
9	佐藤 拓也	1	175	
10	狩野 大樹	1	170	
11	松本 駿	1	170	
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				

## 【備考】

監督、コーチ、マネージャー（生徒以外）の追加については、学校長の承認を得るといふことで、専門部長宛に変更届け（要押印）を添付すること。  
各試合の構成メンバー用紙は、先に配布されている様式で提出すること。  
新規の選手をエントリーする場合は、備考欄にID番号を記入してください。

## 平成26年度 第60回福島県高等学校体育大会バレーボール競技

最 終 エ ン ト リ ーチ ー ム 郡山女子大学附属高等学校 女

大橋

監 督 佐藤 浩明

コ ー チ 佐々木 淑子

マネージャー

競技者番号	選 手 名	学 年	身 長	備 考
1	小林 由実	3	164	
2	郷 香穂理	3	173	
3	赤石沢 夏海	3	163	
4	丹野 瑞希	2	172	
5	戸邊 緩奈	2	165	
6	弓田 真央	2	162	
7	鈴木 歩果	2	178	
8	大竹 優衣	2	161	
9	菅野 舞香	2	164	
10	高橋 未衣	2	166	
11	岡部 望弥	2	161	
12	斎藤 朱音	2	163	
13	目黒 安希	1	172	
14	鯉 渕 瑞希	1	170	
15	熊坂 いずみ	1	172	
16	鈴木 遥菜	1	161	
17	遠藤 羽衣	1	156	
18	鈴木 咲妃	1	160	

【備考】

監督、コーチ、マネージャー（生徒以外）の追加については、学校長の承認

戦 評

大会名 : 平成26年度福島県高等学校体育大会

期日 : 平成26年6月2日(月) 会場 : 国体記念体育館

種目 : 男子 ・ 女子 ・ 決勝

主審 馬場正紀

副審 山野辺康

戦評 遠藤順一

相 馬

25	-	15
25	-	20
-	-	-

田 村

決勝は2年ぶり19回目の優勝を目指す相馬高校(以下相馬)と初の優勝を目指す田村高校(以下田村)の対戦となった。

第1セット猪野のAフイツ、堀のスパイクなどで相馬は6-2と好スタートを切る。ここで田村は鈴木によるスパイクと高速ジャンプサーブの連続得点で6-7と1点差に詰め寄るものの、相馬のペッター山崎はエース佐々木にトスをあげ、要所で瞬間差攻撃や速攻などを仕掛けて相手を翻弄。中盤から福島の連続得点を許さない相馬が第1セットを25-15で先取した。

続く第2セットは立ち上がりから相馬ペース。佐々木のスパイク、堀のBフイツで得点を挙げる。中盤に17-11と田村をリード。ここから田村は鈴木を中心に渡邊や小野塚のスパイクで連続得点をあげ、19-22と3点差まで追いつける。冷静な佐々木は相馬はタイムアウト明け、粘り強く着実にボールを叩き、最後はエース佐々木が連続してスパイクを決め、25-20と勝利。セットカウント2-0で相馬高校が2年ぶり19回目の優勝を決めた。

戦 評

大会名 : 平成26年度福島県高等学校体育大会

期日 : 平成26年6月2日(月) 会場 : 国体記念体育館

種目 : 男子 . 女子 . 決勝

主審 菊地賢二

副審 五十嵐善之

戦評 大井信二

郡女大附属

( 25-17  
25-19  
— )

磐城第一

今年の女子決勝戦は、昨年の新人大会と同カードとなった

第1セットは序盤から郡山女大附の1番キャプテンでセッター小林のトスワークが冴え、13-6と一方的なゲーム展開となりつつあった。しかし、磐城第一の2番エース山田のライトからのスパイクがサウスポで10番藤藤のスパイクが決まり、16-19と3点差まで追いつけるが、郡山女大附の4番丹野、13番目黒のレフトからのスパイクが決まり、25-17で第1セット目を先取した。

続く第2セットは、磐城第一のエース山田の強烈なスパイクが決まり10-6と序盤から郡山女大附を7点差に広げる。

郡山女大附は、たまりがタイムアウト。タイムアウト後は、落5番を先取り戻した郡山女大附は、第1セット同様セッター小林のトスワークが冴え始め、13-14と追いつける。今度は磐城第一がタイムアウトを取るが、一度傾いた流れを止めることができない。郡山女大附は、4番丹野や13番目黒のレフトからのスパイクの他、2番御のブロックや5番戸邊のジャンプサーブで7点差をなし、最後は、9番のアウトが決め、郡山女大附が3年ぶり16回目の優勝を挙げた。